

令和4年度学校経営方針

神崎市立脊振小学校

学校教育目標

脊振を愛し 進んで学ぶ たくましい子どもの育成

教師指導力の強化（OJT）

学校経営目標

- 1 安心して学べる環境を確保し、子ども・保護者・地域から信頼される学校をつくる。
- 2 教職員の意識改革と効率的な自己研鑽を推進し、指導力と人間性の向上を図る。
- 3 「知・徳・体」の調和のとれた生き抜く力を備えた子どもを育成する。

目指す学校像 『子ども・保護者・地域から信頼される学校』

- ①教育愛に基づき、組織的・計画的に目標の実現を目指す学校
- ②教職員の意識改革と資質向上に努め、教育効果を追求する学校
- ③透明性や信頼性が高く、地域と共にある学校

目指す教師像 『愛情と向上心をもつ教師』

- ①子ども一人ひとりを理解し、よさを引き出し育てる教職員
- ②子どもや保護者・地域と共にあり、連携できる教職員
- ③使命感と向上心をもち、専門職として自己研鑽に努める教職員

育てたい子ども像 『石の門の教えを守る子』

- | | |
|---------|--------|
| ① 心の大きい | 優しい子 |
| ② 体の丈夫な | たくましい子 |
| ③ 意志の強い | やり抜く子 |
| ④ 郷土を愛し | 学業に励む子 |
| ⑤ 品のある | 礼儀正しい子 |

重点指導目標

- (1)基礎・基本の習得、活用、探究的な学習を通して、主体的な学習者を育成する。
- (2)子ども同士の望ましい人間関係づくりを推進し、自ら考えて行動することができる能力を育成する。
- (3)子どもの保健・安全や食に関する認識を深め、進んで健康の保持増進に努める態度を育成する。
- (4)小中連携、幼保小連携、家庭・地域社会との連携を充実させ、コミュニケーション力を育成する。

学校組織力の強化（チーム脊振）

重点指導項目

確かな学力の育成

- ①小中連携教育研究を推進し、共通の研究主題を設定するなど、ベクトルを揃えて学力向上を目指す。
- ②指導方法の工夫・改善、ICT活用等を図り、学ぶ楽しさを実感する授業の実現を目指す。
- ③特別支援教育の手法を取り入れ、個々の能力を引き出す指導に努める。
- ④読書を奨励し読書の習慣化に努める。

豊かな心の育成

- ①道徳教育を充実させ、自ら考えて行動する子どもを育成する。
- ②お互いの人格を尊重する指導を行い、支持的風土作りを推進する。
- ③いじめ防止と早期発見・早期解決に努める。
- ④自然体験・奉仕体験等の推進と充実を図る。
- ⑤縦割り活動の充実により、異学年とのふれあいの場を確保する。

健やかな体の育成

- ①「早寝・早起き・朝ご飯」の励行と生活リズムの適正化に努める。
- ②体を動かすことの楽しさを体感させ、体力・運動能力の向上、習慣化に努める。
- ③保健学習・指導や給食指導を中心とした食育の充実を図り、健康生活のための知識を深め、意識を向上させる。
- ④生活事故防止、交通事故防止、不審者への対応、感染症対策等の安全指導を行い自己防衛能力を高める。

連携教育の推進

- ①中学校と連携し、9年間の児童・生徒の成長を見据えた教育を実施していく。
- ②幼稚園・保育園と連携し、情報を共有していく。
- ③家庭と連携し、望ましい生活習慣・学習習慣の確立を図る。
- ④地域・社会と連携し、様々な体験活動を通して故郷への愛情を醸成すると共に、様々な生き方に触れることで児童自らの生き方を再考する機会とする。

学びやすい・働きやすい環境作り(安全点検、施設・備品の管理・充実、整理整頓、働き方改革)